

4 親善行事（米海大エリクソン准教授案内）

1月29日（土）、米海軍大学の中国海洋研究所（CMSI: China Maritime Studies Institute）所属のアンドリュー・エリクソン准教授（Andrew S. Erickson）を、中尾誠三副会長を始め5名の役員と自ら写真係を務めて下さった上林将人会員が、浅草仲見世と浅草寺を案内しました。

エリクソン教授は、昨年夏の会報誌38号以来「米国から見た中国の Sea Power」の論文等紹介あるいはJANAFA ウェブ・サイトの「中国の海洋進出」の記事掲載でご記憶の方もあらうかと思います。新進気鋭の学者であり極めて活発に活動されている方です。

エリクソン准教授は、防衛研究所主催の「平成22年度アジア太平洋安全保障ワークショップ」（非公開会議）に前日28日まで参加され、当日夕刻19:25成田発で帰国されるところ、暫しの間の浅草見学となった次第です。その経緯は、昨年末にエリクソン教授の来日を廣田恵理事が知り、この機会に御礼方々何か企画できないかと発案、浅草寺見学等の担当をされていた初谷龍夫理事及び遠山和雄理事が一肌脱いでくれることになりま

した。また、岡副会長の賛同を得ると共に中尾副会長が参加されることで計画外ではありましたがJANAFAの事業として扱われることになったのです。各理事のフットワークの良さと、柔軟な対応はとても気持の良いものでした。

当日は、朝10時半に雷門前集合とし、廣田理事が、エリクソン教授の宿泊先（渋谷エクセルホテル東急）まで迎えにいきました。概ね時間通りに雷門の前に集まることができ顔合わせをしました。なんと彼はとても若い好青年でした。伺ったところ弱冠31歳だとのこと。准教授の肩書きですが、2006年に創設されたCMSIの発起人の一人であり、現在20人の教授陣の中で3人のコア・メンバーの一人であるということですから驚きです。米海大中国海洋研究所の精力的な活動の源には、こうした若い研究者がいたのです。彼の経歴を調べてみましたら、米国屈指の名門校アマースト大学（1997～2001年（1999～2000同志社大学））を優等生で卒業、その後プリンストン大学の博士課程（2001～2006（2002～2003北京師範大学））、在北京米国大使館勤務等を経て2005





年から米海軍大学の研究員、2006 年から同校准教授を務められています。

さて、彼は帰国の途にあったわけで、コートなしのネクタイ・スーツ姿で大きな荷物を抱えておりました。一月下旬で最も寒い時期ですから寒くないかと尋ねるとアメリカのボストンと比べれば暖かい位だと言います。本当に若いんですね。荷物は地下鉄浅草駅のコインロッカーにも入らない

ということで駅前の旅行案内所で教えてもらった雷門の近くの浅草プラザホテルに荷物を一日 2000 円で預けました。実は、この旅行案内所には英語で浅草仲見世界隈を無償で案内してくれるボランティアの方がいて、11 時から案内してもらうことにしていました。我々 7 名とオーストラリアから来た老夫婦を加えた 9 名に対して英語の堪能な 50 代位の男性の方が付いてくれました。アンドリューは、日本の文化にもかなり詳しくガイドさんは案内のしがいがあったと思う反面、ガイドさんをお願いして我々も助かりました。いつの間にかエリクソン教授がアンドリューになってしまいましたが、控えめで礼儀正しく、そして若者らしい屈託のなさに接しているうちに自然とそうなっていました。聞き出したところによると未婚ですが、彼女はいるそうです。

いつも JANAFA が大変お世話になっている浅草寺延命院の清水英順会員には、ご都合が悪くお会いできませんでしたが、一時間半程で浅草寺を含めた一通りの見学を終えました。その後、天ぷらや「江戸っ子」の座敷で昼食となりましたが、ここで日本酒などを頂きながらゆっくり寛ぎました。アンドリューは左党でもあるようで頼もしい限りです。ここで JANAFA からはささやかな贈



り物をしましたが、彼は我々6人分のお土産（恐らく清水さんの分も）もちゃんと用意していました。勿論、廣田理事との事前の遣り取りもあったでしょうが、気配りも一流だと思いました。

午後3時前に浅草駅にお見送りし、廣田理事が上野発成田行きの京成スカイライナーまで案内し任務終了となりました。

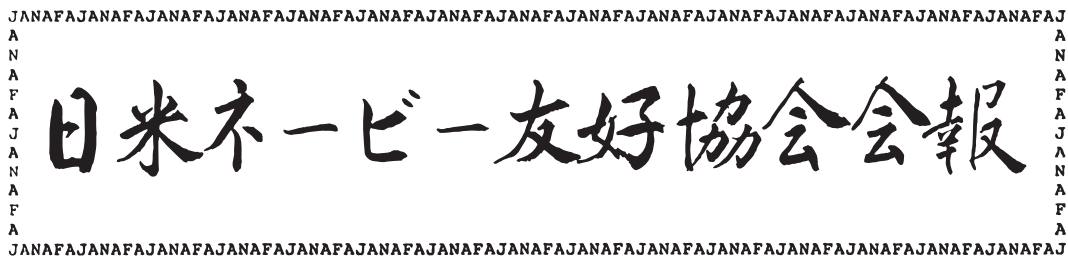
この度の浅草仲見世・浅草寺見学は、アンドリューにとって良い思い出となったと思いますが、我々JANAF Aにとっても良い経験になりました。数日後、我々全員宛に次のメールが届きました。

Warm greetings from Newport, Rhode Island and Boston/Cambridge, Massachusetts (Harvard University, the location of my academic fellowship this year), where we are now having an intense two-day snowstorm to add to the half-meter of snow already on the ground! It's a little like Tohoku or even Hokkaido, although unfortunately without any onsen!

Thank you so much for your kind hospitality and wonderful lunch and extensive tour of the ancient and respected Sensō-ji Temple. I was very interested to learn about your great work at JANAF A, and look forward to cooperating with you in the future.

(河村雅美 理事 記)





平成 23 年 7 月 1 日



*JANAF*Aの目的及び活動

日米ネービー友好協会は、海上自衛隊と米海軍との友好親善及び相互理解の増進に寄与することを目的としております。なお、活動の重点項目は次のとおりです。

- (1) 海上自衛隊と米海軍との友好親善及び相互理解の増進のための活動及び支援
- (2) 海上自衛隊と米海軍との緊密な連携及び信頼関係の向上のための活動及び支援
- (3) 会の活動状況の広報及び会勢の維持・拡充
- (4) 会員相互の親睦及び行事への積極的参加の促進

*Purpose and Activity of JANAF*A

The purpose of JANAF A shall be to contribute to the promotion of friendship and mutual understanding between the Japan Maritime Self-Defence Force (JMSDF) and the U.S.Navy (USN).

Key items of its activities shall be :

- (1) To promote friendship and mutual understanding between the JMSDF and the USN,
- (2) To promote close ties and a relationship of mutual trust between the JMSDF and the USN and to support them,
- (3) To advertise JANAF A activities to the public and members and to expand its membership,
- (4) To emphasize the friendship among its members and to promote their participation in JANAF A events.

表題の揮筆：故 石田捨雄 海将

表紙の写真：北澤大臣に「オペレーション・トモダチ」の横断幕を披露する米空母乗員（4月4日）

裏面の写真：（上）「トモダチ作戦」で在日米海軍が作り、使用されたワッペン
（中） 救援活動中に三陸沖で会合、互いに登舷礼式でエールを交わす海自「ひゅうが」と米空母「ロナルド・レーガン」

写真提供者：石川達也・上林将人・古賀健詔 会員・海幕広報室提供・米海軍

目 次

巻頭言	会長 吉川 榮治.....	2
I 特集；Special Contribution		
友達作戦 Operation Tomodachi	在日米海軍司令部.....	4
II 連載；Series:PLAN watch		
1 中国の国防白書 2010 版—どう読む軍事力現代化の多面性— China's National Defense in 2010- Review of diversity of modernization of military power NHK調査室主管 竹田 純一.....		9
2 Proceedings 4月号 中国特集からの論文紹介	編集部.....	28
毛沢東の積極防御が攻勢的に変わりつつある—Mao's Active Defense Turning Offensive 大陸国家が海洋を目指す時—When Land Powers Look Seaward		
3 米海軍大学中国海洋研究所の論文等の紹介(続き)	編集部.....	41
公開論文 7 排他的経済水域での軍事行動共有海域での安全保障と国際法についての 米国と中国の対話 書籍 5 中国の航空宇宙パワー海洋任務への発展		
III JANAFA の活動		
1 吉田學元会長を偲んで		46
元副会長 森脇 俊彦・第五代会長 岡部 文雄・Dr. James E. Auer 元ペルシャ湾掃海部隊指揮官 落合 峻・元5駆隊隊付 本多 宏隆 元4護群司令 副官 森本 茂夫・元大湊地方総監部 副官 岩渕 秀樹		
2 定例春季行事(平成23年度総会)	理事 植月 政則.....	60
3 日本文化の紹介(大谷ガーデン)	理事 長谷川 洋.....	61
4 親善行事(米海大エリクソン准教授案内).....	理事 河村 雅美.....	63
5 佐世保だより「サボテンの花」.....	理事 細國 春夫.....	66
IV 部隊指揮官等		
1 海上自衛隊		73
2 在日米海軍		74
3 米海軍部隊指揮官の紹介		75
V JANAFA の現状		
1 平成23年度主要事業.....		79
2 平成23年度役員.....		80
3 会員の現状		81
編集後記.....		82



記事の投稿、表紙を飾る写真等の提供を募集しています。会報誌のお問い合わせは、次の会報班理事にご連絡下さい。

総 括 河村 雅美（かわむら まさみ） 勤務先：(株) OCC

Tel：045-330-6633 Fax：045-330-6636

E-mail：kawamura@occ.ne.jp

植月 政則（うえつき まさのり） 勤務先：三菱重工(株)航空宇宙事業本部

Tel：03-6716-4310 Fax：03-6716-5879

E-mail：masanori_uetsuki@mhi.co.jp

関口 誠一（せきぐち せいいち） 勤務先：ヤマハ発動機株式会社

Tel：03-5222-7381

E-mail：sekiguchis@yamaha-motor.co.jp

廣田 恵（ひろた めぐみ） 勤務先：三波工業株式会社

Tel：03-3811-7852

E-mail：squidelectron@gmail.com

松本幸一郎（まつもと こういちろう） 勤務先：ユニバーサル造船株式会社

Tel：044-543-2983

E-mail：matsumoto-kouichir-1@u-zosen.co.jp

HP 担当 平山 孝雄（ひらやま たかお） 勤務先：(株)シマンテック総合研究所

Tel：03-6415-8330 Fax：03-6415-8340

E-mail：takao_hirayama@symantec.com

発行所 日米ネービー友好協会

発行人 理事長 河野 美登

編集 理事 河村 雅美

” 植月 政則

” 関口 誠一

” 平山 孝雄

” 廣田 恵

会 員 松本幸一郎

事務局 〒 150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-5-3
水交会気付

TEL：03-3403-1491（代表）

印刷所 中央印刷(株)

〒 171-0021 東京都豊島区西池袋 5-26-19
陸王西池袋ビル 4 階



日米ネービー友好協会の盾
JANAF PLAQUE